

9月11日（金）

大阪プロモーションセミナー・ネットワーキングレセプション

宿泊ホテルであるホテルエルミタージュにおいて、大阪市のプロモーションセミナー及びネットワーキングレセプションに参加した。

ミラノ行政関係者、経済団体・企業関係者等の多くの参加の中、村上副市長からの主催者挨拶及び来賓挨拶があり、『大阪の優れたビジネス環境と「食」、「観光」等の都市魅力について』というテーマで、大阪市経済戦略局より「大阪のビジネス環境と都市魅力」、大阪商工会議所より「大阪での食関連ビジネスチャンス」、在大阪イタリア共和国総領事館より「大阪の魅力」、JETROミラノ事務所より「大阪ビジネス環境」と題して、それぞれプレゼンテーションを行った。



セミナーの様子

ネットワーキングレセプションは、セミナー参加者の人脈づくり、意見交換を通じた経済交流の推進を目的に開催され、交流を深めた。

スカラ座視察

ミラノ市庁舎前のスカラ座の視察を行った。

マルコ・ロンバルディ 在大阪イタリア共和国総領事にも同席いただき、村上副市長、東議長、アレキサンドラ・ペレイラ総裁の挨拶の後、記念品を交換、記念撮影を行い、館内の視察を行った。

【村上副市長 挨拶要旨】

大阪市とミラノ市は大阪の文楽、ミラノ市のオペラなど世界に誇る伝統芸術や文化面でも共通点が多く、1981年の姉妹都市提携以来、幅広い分野で交流を深めてきた。

1981年にスカラ座が来日し、大阪フェスティバルホールにおいて姉妹都市提携記念公演を上演されたのが大阪における最初の姉妹都市事業であった。

2016年は姉妹都市提携35周年を迎えることになり、ミラノ市から代表団をお迎えして大阪において35周年をお祝いしたい。



スカラ座内

【東議長 挨拶要旨】

スカラ座のような伝統と格式ある建物を有するというのが、ミラノの都市魅力をより一層高めているものと思う。

アレキサンドラ・ペレイラ総裁やマリア・ディ・フレダ総支配人の貴重なご意見を参考にして、大阪の都市魅力の向上施策の一助としたいと考えている。

【アレキサンドラ・ペレイラ総裁】

ようこそスカラ座にお越しいただいた。

来年の姉妹都市提携35周年を機に大阪で公演するチャンスに恵まれることを望んでいる。大阪は日本の中でも重要な都市であると認識しており、そのような都市で公演ができればスカラ座（団員）にとっても大きな経験になると考えている。大阪を訪問できることを楽しみにしている。

この他、スカラ座から来年の大阪での公演の開催にあたり、相談・要望があり今後は事務方で調整していくことが話し合われた。

館内視察では、通常では入場できないエリアの視察をすることができ、伝統と格式の高さに圧倒され、大変素晴らしい経験となった。



貴賓席にて

おわりに

今回、世界有数の観光客を誘致しているヴェネツィア市及び姉妹都市提携35周年を記念してミラノ市を訪問した。現地でのスケジュールが実質ヴェネツィア市が1日、ミラノ市が3日という短期間であったが、天候にも恵まれ、訪問先ではあたたかいおもてなしを受け、様々な方とお会いできたことは、大変有意義なものであった。

ヴェネツィア市では、観光客が多いゆえの地域住民との関係や今後の観光行政のあり方に苦慮されていることがわかった。大阪市では現在、インバウンドの取り込みを

重点施策として取り組んでいるが、ヴェネツィア市のような課題が将来発生するかもしれないことを認識しながら、今後の大阪市の観光行政を考えていかなければならず、大いに参考となるものであった。また、姉妹都市であるミラノ市では、ミラノ市議会議長との懇談やレセプションで友好を深めるとともに、ミラノ国際博覧会で大阪のPRを行うなど大きな成果を得ることができたと思う。

訪問先での表敬や意見交換を通じ、これまでの友好関係を確認するとともに、新たな友好関係を築くことができ、いささかなりとも役割を果たすことができたのではないと思う。

最後に、今回の海外出張に際し、事前の準備及び現地での案内、随行等でお世話になったヴェネツィア市、ミラノ市、大阪市の関係者の皆様に心からお礼申し上げる。